

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)カーラ相模大塚新築工事	階数	地上7F
建設地	大和市桜森2丁目143-1,143-18,143-24	構造	RC造
用途地域	第1種住居地域、準防火地域	平均居住人員	186 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2022年9月 予定	評価の実施日	2020年12月11日
敷地面積	1,714 m ²	作成者	㈱オームラ建築設計
建築面積	694 m ²	確認日	2020年12月11日
延床面積	3,766 m ²	確認者	㈱オームラ建築設計

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.1

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算
①参照値 100%
②建築物の取組み 98%
③上記+②以外の 98%
④上記+ 98%

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.1

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.3

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
相鉄線相模大塚駅から徒歩2分の第1種住居地域に、住宅単独用途の共同住宅を計画した。	0
Q1 室内環境 T-2 (遮音性能) 以上を有する開口部サッシを導入している。また、建築材料はJIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用して室内環境に配慮した計画としている。	Q3 室外環境 (敷地内) 0
LR1 エネルギー 断熱性能等級4相当の仕様である。また、潜熱回収型給湯器を採用してLR1エネルギーに配慮した計画としている。	LR3 敷地外環境 広告物照明を行わないことによりLR3敷地外環境に配慮した計画としている。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される